

居場所の運営力・支援の質をじっくり高め合う2日間！

校内居場所カフェスタッフ 養成講座：基礎知識編

東京
開催

5.27(土)-5.28(日)

13:00-17:00 10:00-16:00

会場 RYOZAN PARK 巢鴨

(〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-9-1)

参加費 25,000円(税込)※団体割あり

対象 校内居場所カフェ運営者

※立ち上げ予定の方、ボランティア、学校関係者、福祉関係者も大歓迎です。



日本初！校内居場所カフェの 運営方法を体系的に学べる場

2014年から7年間、校内居場所カフェを運営しているNPO法人パノラマが、実践してきたノウハウや全国のカフェの運営方法をベースに、体系的に学べるカリキュラムを作りました！

- 多様な生徒とどう関わればいいのかわからない...
- スタッフやボランティアさんはどう集める？
- 居心地の良いカフェのレイアウトはどうつくる？
- 多くの生徒と出会うためのイベントはどうつくる？
- 学校や先生との協力関係をどうつくればいいのか？

今回は「基礎知識編」ということで、運営の基盤となる知識とノウハウをお伝えし、参加者同士でディスカッションしながら深めていきます。

講師

石井正宏



NPO法人パノラマ 理事長
ぴっかりカフェ/BORDER CAFE
カフェマスター

小川 杏子



NPO法人パノラマ
学校連携事業 統括
校内居場所カフェスタッフ

詳細は裏面をご覧ください。

カリキュラム

「校内居場所カフェスタッフ養成講座テキスト（基礎知識編）※別売り」の内容に基づいて講義を行い、参加者同士の事例共有などワークショップも織り交ぜながら、理解を深めていきます。

※事前にテキストをご購入いただき、熟読してからご参加することを推奨しております。

※カリキュラムは一部変更する場合がございます。

1日目（13:00～17:00 ※休憩あり）

- ・ 若者支援の中の校内居場所カフェの位置付けと成り立ち（予防支援）
- ・ 子どもの利益の最優先とその応用
- ・ 3つのコンセプトの徹底（安心安全/文化資本のシェア/ソーシャルワークの起点）
- ・ サードプレイスの重要性
- ・ 多様な校内居場所カフェの実践例とその傾向
- ・ 専門性<関係性（支援レディネスを整える支援）
- ・ 学校とパートナーシップを築く各種手続き

2日目（10:00～16:00 ※お昼休み・休憩あり）

- ・ 学校組織を理解する校内サバイバル術
- ・ カフェの運営費や資金調達
- ・ 居心地の良いカフェのレイアウトやイベントの工夫
- ・ ボランティアとの出会い方とその育成方法
- ・ 生徒の支援二重奏（表の主訴と裏の主訴）
- ・ 充実した振り返りと学校との情報共有のコツ
- ・ 第3の大人の価値と意味
- ・ 学校の方針をぶらさない生徒支援
- ・ 中退生や卒業支援の実際のケース

参加者の声

全国から校内居場所カフェの運営者・スタッフ、立ち上げ予定の方、学校関係者、福祉関係者、行政職員など多くの方にご参加いただいています。

「校内でのサードプレイスづくりを進めていく上で、どのような準備が必要かがよくわかった。」

「校内居場所カフェでのソーシャルワークのイメージが湧きました」

パノラマの10年間で凝縮された、ものすごい原液を一気飲みしたような気分です。実践に裏打ちされたわかりやすい内容を自分なりに咀嚼していきたいです。

お申し込み方法

- 下記URL(又はQRコード)のフォームに必要な事項を記入のうえお申込みください。

<https://202305-cafestaff-tokyo.peatix.com/>



先着30名様限定！

★団体割あり

- 講座のテキストはオンラインショップ(下記URL)にて事前にご購入ください。

